

群馬県の工場に流れる、「産業の血液」ともいえる工業用水。その水を、川の水を利用してつくり、各工場へ送る役割を果たすのが、企業局の「工業用水道事業」です。

工業用水道事業では、工場で冷却用や洗浄用に大量に使われる水を安く、安定して供給することで、県内産業の振興と発展に貢献するとともに、従来地下水に頼っていた工業用水を川の水に置き換えることで、地盤沈下の防止にも役立っています。

工業用水道事業では、工場で冷却用や洗浄用に大量に使われる水を安く、安定して供給することで、県内産業の振興と発展に貢献するとともに、従来地下水に頼っていた工業用水を川の水に置き換えることで、地盤沈下の防止にも役立っています。



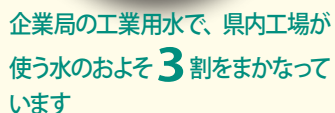
老朽管の布設替え工事（渋川工業用水道）

 渡川工業
 用水道

 東毛工業
 用水道

1日
約13万m³
の水をつくり

約110の工場
に供給

[illegible]